



NU7

National University Seven

国立七大学の総合情報誌


2016.11 No.8



2016 年度学生会地域講演会スタート
第 24 回関西茶話会講演録

第 55 回

七大戦、
総合優勝校決定!



学生会・学生会館ニュース

学生会

学士会
特別協賛

第55回 七大学 総合優勝校決定！！

主管校東京大学が、首位を守りきる



学士会トロフィーは、
東京大学に贈呈！



第56回主管校は、名古屋大学！



学士会が特別協賛している第55回七大学（全国七大学総合体育大会）の総合優勝校は、東京大学に決定しました。

9月24日（土）に開催された閉会式では、学士会事務局長渡辺幸重より東京大学へ学士会トロフィーが贈呈され、次回大会への応援として、今大会マスコットの「イチ公」より次期主管校である名古屋大学の桑山晃久第56回大会実行委員長（中央写真・左）へ、東京大学学生直筆メッセージ入りのたすきとエールが贈られました。

最後は、東京大学の松山宏彰今大会実行委員長（中央写真・右）と桑山君ががっちり握手をし、実行委員長の“思い”も引き継がれました。

第56回は、どんなドラマがあるのか!? 学士会は、これからも七大学と七大学生を応援します。

七大学学生、大奮闘

七大学学生の健闘ぶりを一部ご紹介します。各競技一覧と競技結果は、本誌10・11頁をご覧ください。



ヨット
優勝は、九州大学

バスケットボール（男子）
優勝は、大阪大学



馬術
優勝は、名古屋大学

2016年度 学士会地域講演会がスタート

学士会・北海道大学校友会エルム共催「北海道講演会」開催

10月1日(土)、学士会地域講演会「北海道講演会」を北海道大学で開催しました。今後、12月9日(金)に名古屋大学、来年2月4日(土)に東北大学、3月18日(土)に九州大学で、各大学や同窓会と協力して地域講演会を開催予定です。各講演会の詳細は、『NU7』や『学士會会報』、学士会公式サイトをご覧ください。各地域にお住まいの皆様、出身大学の皆様、学士会「地域講演会」にご参加ください。

学士会・北海道大学校友会エルム共催 北海道大学後援

「北海道講演会」

場所 北海道大学 学術交流会館

2016年10月1日(土) 15:30~18:00

「北海道から世界へ ~スイツ王国の国際戦略」

長沼 昭夫 氏 (株式会社きのとや 代表取締役会長)



当日の様子は、本誌34頁をご覧ください。講演録は、2017年3月1日発行の『NU7』No.10に掲載予定です。

学士会応援の

第24回 国立七大学 OB 野球大会が開催されました

七大野球部のOBが硬球で真っ向勝負——今年も8月7日(日)、東大球場(農学部グラウンド)で「第24回国立七大学OB野球大会」が開催され、現役学生さんからの熱戦が繰り広げられました。

試合は、朝から夕方まで1チーム当たり2試合計7試合が「試合は5イニング制・65分で打ち切り、守備の交代は自由、打順も参加者全員で回す」という特別ルールで行われました。前夜祭は、学士会館で開かれ、大学の垣根を超えた熱い友情を交わしていました。



✓ 試合結果は次の通りです。

① 北大	4-4	九大
② 阪大	4-5	北大
③ 東北大	10-1	九大
④ 東大	2-4	阪大
⑤ 名大	6-3	東北大
⑥ 東大	2-0	京大
⑦ 京大	6-2	名大



2016.11 NO.8

7 LECTURE 第24回 関西茶話会

真田幸村と大坂の陣

— 智将幸村の生き方・戦い方 —

北川央 (大阪城天守閣館長)

03

7 UNIV.

七大学情報

七大学書籍ランキング 40

10

7 ALUMNI

同窓会案内・開催報告

20

7 MEMBERS

会員通信

会員著作物紹介・会員活動報告
『NU7』原稿募集のご案内

26

7 NEWS

学生会・学生会館より

32

7 STAFFs

編集委員コラム

42

JOIN US!

学生会の紹介

表 4



開催日 2016年4月16日(土)

会場 中央電気倶楽部(大阪市)

真田幸村と大坂の陣

— 智将幸村の生き方・戦い方 —

きたがわ ひろし

北川 央

大阪城天守閣館長



● PROFILE ●

神戸大学大学院文学研究科修了。1987年に大阪城天守閣学芸員となり、主任学芸員・研究主幹などを経て、2014年より館長。この間、東京国立文化財研究所・国際日本文化研究センター・国立歴史民俗博物館・国立劇場・神戸大学・関西大学など、多くの大学・博物館・研究機関の委員・研究員・講師を歴任。織豊期政治史ならびに近世庶民信仰史、大阪地域史専攻。著書に『大阪城ふしぎ発見ウォーク』(フォーラム・A)、『神と旅する太夫さん』(岩田書院)、『おおさか図像学』(東方出版、編著)、『肖像画を読む』(角川書店、共著)、『近世民衆宗教と旅』(法蔵館、共著)など多数。

関ヶ原合戦と高野山蟄居

慶長5(1600)年9月15日、関ヶ原合戦が起きました。秀吉の死から2年後のことです。この合戦は「豊臣対徳川」と思われていますが、実際には、豊臣家臣団が徳川家康の率いる東軍と石田三成らの西軍に分かれ、ともに「豊臣家のため」「秀頼公のため」という大義名分を掲げ、激突した戦いです。

真田家では、昌幸と次男の幸村が西軍に、長男の信幸が東軍に与しま

した。東軍は反石田三成派の秀吉恩顧の大名を家康が、徳川譜代の家臣たちを家康の嫡子秀忠が率いました。家康軍は東海道を、秀忠軍は中山道を進みましたが、昌幸と幸村は秀忠軍3万8千人をわずか3千人で迎え撃ち、上田城に釘づけにしました。そのせいで秀忠軍は関ヶ原の本戦に遅参しました(第2次上田合戦)。

家康は関ヶ原の決戦で一気に豊臣から徳川の時代にしたかったはずで

すが、真田のせいで秀忠は武将として大恥をかかされ、東軍は秀吉恩顧の大名たちの働きによって、ようやく勝利を得ることができました。家康は西軍の大名たちから没収した所領を福島正則・黒田長政・池田輝政らに大盤振る舞いせねばならず、彼ら豊臣大名はいずれも大々名となりました。家康が計画した政権奪取のプランは変更を余儀なくされたのです。

昌幸と幸村は、西軍の大名として斬首されてもおかしくありませんで

したが、家康の養女を妻とし、東軍に与した信幸ⁱの嘆願により死を免れ、高野山に配流されました。

12月、昌幸と幸村は真田家と師檀関係にあった蓮華定院^{ちつきよ}に蟄居し、ほどなく麓の九度山に移りました。高野山の山上は女人禁制でしたが、麓は女性も居住できたので、幸村は妻子とともに暮らしました。

i 関ヶ原合戦後、信幸は信之と改名し、沼田領に加えて父昌幸の上田領もあてがわれ、上田城主となった。

昌幸と幸村の蟄居生活

慶長8(1603)年2月12日、家康は将軍になりました。1カ月後の3月15日、九度山の昌幸は故郷である信州真田郷の信綱寺住職に宛てて、「家康側近の本多正信が私のことを取り成してくれる。下山したら会おう」という手紙を書いています。昌幸は、「赦免工作が功を奏し、自分はすぐに許される」と呑気に構え

ていたのです。

昌幸が九度山で書いた手紙には、「臨時の仕送り40両のうち20両を受け取った。九度山では借金が一杯ある。残りの20両を早く送ってくれ」と訴えるものもあります。当時の1両は今の約30万円なので、40両は約1,200万円です。

二人の生活は、関ヶ原合戦後新たに上田城主となった真田信之ⁱからの仕送りなどで支えられていましたが、それでは全然足らず、経済的に窮乏し、借金まみれになっていました。流人となってからも、大名としての生活水準を落とせなかったのでしょう。

すぐに赦免されると考えて



いた昌幸ですが、蟄居生活 11 年目の慶長 16 (1611) 年 6 月 4 日、九度山にて 65 歳で亡くなりました。9 日後の 13 日付で、本多正信から真田信之に宛てた手紙には、「あなたの父昌幸は今も幕府から許されていない。葬儀は幕府の許可を得てからにせよ」とあります。

昌幸の一周忌が過ぎると、世話役を務めた家臣のほとんどが上田に帰りました。仕送りも大幅に減額されたと思われ、幸村の生活は一層苦しくなりました。

大坂の陣～大坂城の動き

幸村が蟄居 14 年目を迎えた慶長 19 (1614) 年 10 月 1 日、家康は諸大名に大坂攻めを命じました。大坂の陣の始まりです。

『駿府記』によると、駿府を発って大坂に向かう家康の元に、連日、京都所司代の板倉勝重から飛脚が到来し、大坂城の緊迫した動きを伝えています。それまでは土塁だけだっ

幸村は上田の重臣に宛てた手紙の中で、「今年の冬はいつにも増して寒く感じる。何をやるにも不自由だ。私の情けない姿を察してくれ」と嘆き、「真左衛入」と署名しています。真は真田、左衛は左衛門佐、入は入道です。父の死後、幸村は出家したのです。

姉婿に宛てた手紙では、「年を取ったことが悔しい。去年から急に年を取り、病気がちになった。齒も抜けた、髭も白いところばかりだ」と泣き言を吐露しています。

そうがまえた惣構せいろうに塀が付けられ、櫓や井楼が次々と建てられ、城の構えが堅牢になったこと、城から運び出された莫大な金銀で大量の米や武器が買われ、籠城の準備が進んだこと、豊臣秀頼からの招きに応じ、長宗我部盛親、後藤又兵衛をはじめ、有名・無名の浪人たちが続々と大坂城に入城したことなどです。

幸村、破格の待遇で大坂城に入城

『大坂陣山口休庵咄』は、秀頼に仕え、大坂の陣を生き延びた山口休庵が話した内容をまとめたものです。この中に大坂城に入った主な浪人衆のリストがあり、その筆頭に幸村の名が出てきます。「豊臣勝利の暁に

は 50 万石を与える」という条件で入城したことが記されています。前述の『駿府記』には秀頼が九度山から真田幸村を呼び寄せた際、当座の支度金として黄金 200 枚、銀 30 貫目を与えたことも記されています。

ちなみに、黄金1枚は10両、1両は30万円なので、黄金200枚は6億円です。銀1匁は5千円なので、銀30貫目は1億5千万円です。秀頼は7億5千万円を用意して幸村を迎えたのです。幸村一人の支度金がこれだけですから、豊臣家の財力には驚くしかありません。

浪人衆の中で、元々一番の大身だったのは土佐一国の太守であった長宗我部盛親ですが、『大坂陣山口休庵咄』のリストでは幸村の次に彼の名があり、「関ヶ原以前のように土佐22万2千石を与える」という条件が記されています。幸村は長宗我部の倍以上の石高を約束されたことになります。

さらに『落穂集』には、「秀頼に招かれて大坂城に入った浪人衆には、有名な武将が多かった。中でも毛利勝永、長宗我部盛親、真田幸村は“三人衆”と呼ばれ、特別扱いされた」とあります。彼らは外様ながら、豊臣家の意思決定をする軍議にも参加を許されました。

さて、幕府の命を受けた紀州浅野家と高野山金剛峯寺の監視下にあった真田幸村ですが、では、秀頼の招

きを受けたとき、どのようにして九度山を脱出したのでしょうか。

徳川幕府が編纂した正史『台徳院殿御実紀』（慶長19年10月14日条）には、「幸村は九度山の村人数百人を集めて大宴会を開き、彼らが泥酔した隙に彼らの馬や駕籠を奪い、妻子や家財道具を載せ、九度山を脱出した」とあります。

江戸時代、信之の子孫は信州松代藩主になりますが、同家が編纂した正史『先公実録』には、「真田の脱出を知り、浅野の家臣が九度山に駆け付けたが、村民から“脱出は3日前”と聞かされ、追捕を諦めた。本当は脱出のすぐ後だったが、村民が幸村を庇ったのだ。一方、真田の大坂城入城を聞いた家康は、“それは親か子か”と震えながら尋ね、“昌幸は病死しており、大坂城入城は幸村”と知って安堵した」とあります。

家康が昌幸の死を知らないとは思えないので、この話は虚構です。ただ、大坂冬の陣勃発の時点で、武将としての幸村の実力は未知数だったことを、この逸話は伝えているでしょう。

真田丸を築いたのは誰か

大坂城は難攻不落の巨大城郭で、東には広大な低湿地が広がり、北には淀川・大和川が流れ合い、西には

海が迫るなど、天然の要害となっていました。しかし、南側だけは平坦な陸地が続き、弱点でした。

そこで、ここに出丸が築されました。この出丸が「真田丸」です。「真田丸」という名称は、幸村が築いたので、そのように呼ばれたと思われていますが、『落穂集』には、「最初、後藤又兵衛が出丸を築こうとした。ところが、後から来た幸村が又兵衛の作業を反故にし、出丸を造ってしまった。激怒した又兵衛は幸村と合戦だと息巻いたので、豊臣家では又兵衛をなだめるため、三人衆と同格という扱いにした。このとき明石全登^{いんとう}も共に、同格とされたので、以後、“五人衆”と呼ばれる

ようになった」とあります。『落穂集』は大坂の陣から百年以上経った享保13(1728)年の作なので、信頼性に問題がありますが、『大坂御陣覚書』にも、「最初、出丸にいたのは又兵衛だが、秀頼に遊軍を命じられたので、幸村が代わりに入り、“真田丸”と呼ばれるようになった」とあります。最初にあの場所目をつけ、砦を築いたのは又兵衛なのかもしれません。

-
- ii 後藤は黒田長政の家老(1万6千石)、明石は宇喜多秀家の家老(3万3千石)である。

大坂冬の陣～真田丸の攻防

大坂冬の陣は、慶長19(1614)年11月中旬から戦闘状態に突入しました。まず豊臣方が各地に築いた砦の攻防戦が行われましたが、豊臣方は敗北を重ね、20万の徳川軍が大坂城を包囲する事態となりました。そして、12月4日に真田丸の攻防戦が行われるのです。

『時慶卿記』には「大坂城責アリテ、寄衆人数多損ト」、『孝亮宿禰日次記』には「大坂表城責、越前少将勢四百八十騎、松平筑前勢三百騎死、此外雑兵死者不知其数之由有風聞」ⁱⁱⁱ、『東大寺雑事記』には「大坂之城大ゼメ、今日迄ニヨセ衆

壹万五千人程打ルト」とあり、徳川軍の大敗を伝えています。

幸村は真田丸の攻防戦で徳川軍主力の前田利常、松平忠直、井伊直孝、藤堂高虎らを翻弄しました。

-
- iii 越前少将は越前北ノ庄城主で家康の孫の松平忠直。松平筑前は加賀金沢城主の前田利常。



幸村に対する寝返り工作

『慶長見聞書』には、「12月11日、家康は幸村に対し、幸村の叔父で、幕府の旗本になっていた真田のぶただ信尹を遣わし、寝返り工作を行なった。しかし、家康からの誘いをきっぱり断った」とあります。

一般に幸村は、「生前に秀吉から受けた大恩に報いるため、負けると知りながら大坂城に入った義の武将」というイメージがあります。しかし、実際はもっと現実的でした。幸村は、「辛くて厳しい九度山での生活から自分を救い出してくれた秀頼公に深く感謝しているので、その秀頼公を裏切って大坂城から出てい

くことなど、できるはずがない」と返答しています。

さて、『慶長見聞書』では、「寝返り工作は12月11日に行われた」となっていますが、『真田松代家譜』では、「両軍の間で和平が成立した12月22日以降に行われた」となっています。どちらが正しいかというと、裏工作の当事者である本多正純が弟に宛てた慶長19(1614)年12月14日付の手紙に、「信尹を通じて幸村に寝返り工作をしている」と書いていますので、「和平成立前が正しい」こととなります。

大坂夏の陣～道明寺の戦い

慶長20年(1615年)5月6日、道明寺合戦が起きました。徳川軍は奈良方面から大和川沿いに大坂城を目指すと予想されていました。この経路では、大和国の竜田村(奈良

県斑鳩町)から河内国の国分村(大阪府柏原市)までの間は隘路を通らねばならないので、豊臣軍は先に国分村に布陣し、隘路の出口で徳川軍を迎撃する作戦を立てました。

ところが、先鋒の後藤又兵衛が国分村近くの道明寺村(大阪府藤井寺市)に到着すると、既に徳川軍は国分村に着陣していました。徳川の進軍が予想以上に早かったのです。

又兵衛は後続の毛利勝永、幸村らの到着を待たずに開戦せざるを得ず、大奮戦の末、壮絶な討死を遂げました。遅れて到着した幸村隊は伊達政



宗隊と激突し、戦いを有利に進めましたが、大坂城から「若江合戦で味方が壊滅。退却せよ」と命令が伝わ

りました。幸村隊は殿を務めて引き揚げ、茶白山（天王寺公園）に着陣しました。

幸村の最期～天王寺口合戦

幸村のいる茶白山の東隣の四天王寺には、毛利勝永が布陣しました。二人は綿密に作戦を立てました。

5月7日、天王寺口合戦が毛利隊と本多忠朝隊の激突で始まりました。毛利隊は非常に強く、本多隊は壊滅し、忠朝は討死しました。本多隊の後ろにいた小笠原秀政（信州松本城主）隊も壊滅し、秀政と嫡男の忠脩が討死しました。

この時、家康軍は小笠原隊の後方を進軍中でした。徳川諸隊は毛利の猛攻から家康を守るために動きまわりました。この結果、真田隊の前方が手薄

になったので、その間隙を衝き、真田隊は家康本陣に三度にわたって突撃を繰り返しました。

幸村は家康をあと一歩まで追い詰めたものの、最後は松平忠直隊の足軽頭、西尾久作に討たれました。

幸村の戦いぶりを、『山下秘録』は「異国不知、日本ニハタメシナキ勇士也。フシキ成ル弓取ナリ」、『薩摩旧記』は「真田日本一之兵、いにしえよりの物語ニも無之由」と記し、細川忠興も書状で「古今無之大手柄」と大絶賛しています。

豊臣にも勝機があった大坂の陣

大坂の陣は、最初から豊臣家の負けが決まっていたように思われていますが、当時の史料を見る限り、豊臣方にも十分勝機がありました。

確かに数の上で徳川軍は圧倒的でしたが、その大軍は徳川家康というカリスマによって支えられているに過ぎませんでした。万一、家康が討死や病没をすれば、徳川に味方する諸大名は雪崩を打って豊臣方に寝返る可能性を秘めていました。

宣教師たちも大坂の陣に注目し、「家康は“人望のない秀忠では勝てない”と知っていたから高齢をおして戦場に出た」と記しています。

幸村は死に場所を求めて大坂城に入ったわけではありません。家康一人の首を取れば形勢逆転が可能でした。それがわかっていたからこそ、幸村は繰り返し家康本陣に突入し、最後まで勝利を諦めず、懸命に戦ったのです。

学生会特別協賛 「第55回七大学戦」、 総合優勝は東京大学！

<http://www.7-univ.jp/index.html>

「第55回全国七大学総合体育大会」は、全ての競技を終え、9月24日（土）、東京大学経済学研究科棟地下1階第1教室にて、閉会式が行われました。東北大学史上初の4連覇を阻止し、総合優勝を果たした主管校の東京大学に、学生会トロフィーが贈呈されました。全競技の結果は以下の通りです。閉会式・競技写真は巻頭カラーページをご覧ください。

		北海道 大学	東北 大学	東京 大学	名古屋 大学	京都 大学	大阪 大学	九州 大学
アイスホッケー		2位	5位	1位	3位	6位	7位	4位
スキー		不参加	1位	2位	3位	5位	6位	4位
航空		7位	5位	1位	2位	3位	4位	6位
バスケットボール	男子	3位	4位	7位	5位	6位	1位	2位
	女子	6位	4位	7位	5位	1位	3位	2位
ラグロス	男子	5位	6位	1位	2位	3位	4位	7位
	女子	7位	5位	2位	4位	3位	1位	6位
少林寺拳法		5位	6位	1位	7位	2位	3位	4位
硬式テニス	男子	2位	5位	1位	3位	4位	6位	7位
	女子	1位	5位	2位	4位	6位	3位	該当団体無し
ヨット		6位	2位	4位	該当団体無し	3位	5位	1位
柔道		5位	3位	6位	3位	1位	2位	6位
剣道	男子	5位	1位	2位	6位	3位	7位	4位
	女子	5位	1位	6位	3位	4位	7位	2位

		北海道 大学	東北 大学	東京 大学	名古屋 大学	京都 大学	大阪 大学	九州 大学
空手道	男子	5位	2位	4位	7位	3位	1位	6位
	女子	2位	7位	4位	6位	5位	1位	3位
競泳	男子	3位	6位	1位	7位	4位	2位	5位
	女子	1位	7位	4位	3位	5位	2位	6位
陸上競技	男子	6位	5位	1位	3位	4位	2位	7位
	女子	5位	2位	6位	3位	4位	1位	7位
バドミントン	男子	4位	3位	6位	7位	5位	2位	1位
	女子	4位	1位	7位	5位	6位	3位	2位
準硬式野球		7位	2位	4位	6位	3位	1位	5位
硬式野球		4位	2位	1位	6位	5位	7位	3位
バレーボール	男子	7位	1位	3位	5位	4位	2位	6位
	女子	5位	3位	1位	4位	6位	7位	2位
ハンドボール		7位	4位	6位	1位	2位	3位	5位
フェンシング		該当団体無し	1位	2位	該当団体無し	3位	4位	5位
水球		該当団体無し	該当団体無し	1位	3位	4位	5位	2位
馬術		6位	4位	5位	1位	2位	該当団体無し	3位
ゴルフ		6位	5位	3位	4位	1位	7位	2位
弓道	男子	1位	6位	3位	4位	5位	2位	7位
	女子	2位	7位	1位	4位	6位	3位	5位
相撲		6位	1位	4位	2位	3位	5位	該当団体無し
ソフトテニス	男子	4位	1位	5位	3位	6位	7位	2位
	女子	3位	4位	該当団体無し	1位	6位	5位	2位
アーチェリー		7位	1位	2位	6位	4位	3位	5位
卓球	男子	3位	2位	7位	4位	5位	1位	6位
	女子	7位	2位	4位	3位	6位	1位	5位
ソフトボール		5位	6位	1位	7位	3位	2位	4位
自動車		2位	3位	1位	6位	7位	4位	5位
体操		6位	不参加	3位	4位	1位	2位	5位
総合順位		7位	3位	1位	5位	4位	2位	6位

北海道大学

告知

◎ 3つの国際大学院が設置されます
<http://www.hokudai.ac.jp/news/2016/08/post-405.html>

文部科学省より、医理工学院、国際感染症学院、及び国際食資源学院の設置が認可されました。

これら学院は、2017年4月の設置に向け準備が進められています。

◎ サステナビリティ・ウィーク 2016 が開催されます

<http://sustain.oia.hokudai.ac.jp/sw/2016/jp/events/>

サステナビリティ・ウィークとは、「持続可能な社会」の実現に寄与する研究と教育を推進させるために北海道大学が主催する事業です。

約2週間で「サステナビリティ・ウィーク」と定め、人類が抱える諸課題をテーマにしたシンポジウムや講演会、ワークショップや展示を集中的に開催し、世界の研究者、学生、市民と共に、より良い未来のために議論が行われます。

報告

◎ 全国都道府県の組合せ隣接ブロックの数え上げ・索引化に成功—明治以降の都道府県設置以来、初めての結果—

http://www.hokudai.ac.jp/news/160902_ist_pr.pdf

北海道大学の湊真一教授、水田正弘教授は、奈良先端科学技術大学院大学の川原純助教、岡山大学の栗原考次教授、石岡文生准教授らとの共同研究により、全国の都道府県の組合せからなる隣接ブロックを網羅的に数え上げて索引化することに初めて成功しました。本研究により、都道府県の組合せ隣接ブロックの総数は1,098億5,712万5,702通りであることが明らかになりました。これは明治以降の都道府県設置以来、初めての計算結果です。今回得られた索引データは、公的統計や疫学調査等における地理的分布の統計的解析の基礎データとして重要であり、独立行政法人統計センターから公開されます。

◎ 次期総長の選考日程の決定について
<http://www.hokudai.ac.jp/news/2016/09/post-407.html>

山口佳三総長の任期満了に伴う次期総長の選考日程が、総長選考会議において決定されました。

次期総長は、国立大学法人北海道大学総長選考会議規程に基づき、所定の手続きを経て、2016年12月13日(火)開催の総長選考会議委員の投票により選考されます。

東北大

告知

◎ 西本智実指揮エルサレム交響楽団 コンサート

<https://www.tohoku.ac.jp/japanese/2016/08/event20160822-03.html>

日時 2016年11月23日(水・祝)
15:00開演

会場 東北大百周年記念会館
川内萩ホール

会費 S席:12,000円/A席:10,000円
/B席:8,000円/C席6,000円/
学生席(大学生以下):3,000円

※学生席は、河北チケットセンター(022-211-1189)のみ扱いです。プレイガイド、

ローソンチケット（Lコード：22521）で
ご購入ください。

萩友会プレミアム（会費納入）会員専用
特別料金として、S席：12,000 円のところ
11,000 円（通常より 1,000 円引）で販
売いたします。萩友会プレミアム（会費納
入）会員専用特別料金席購入方法は萩友会
Web サイトでご確認ください。

報 告

◎東北大学「社会にインパクトある 研究」の Web サイトが開設され ました

[http://www.tohoku.ac.jp/japanese/
2016/08/news20160801-02.html](http://www.tohoku.ac.jp/japanese/2016/08/news20160801-02.html)

東北大学「社会にインパクトある研
究」の Web サイトが開設されました。

「社会にインパクトある研究」では、
「持続可能で心豊かな社会」創造のため、
東北大学の強みを生かし分野融合や新領
域を開拓し、社会的課題に応える戦略的
な研究とその社会実装を推進することが
目的とされています。

現在のところ、大きく 6 つに大分類さ
れる 20 個前後の社会的課題を掲げ、そ
れぞれに応える戦略的な研究プロジェク
トを立ち上げ推進しています。

◎平成 28 年度サイエンス・リーダ

ーズ・キャンプ（国立研究開発法 人科学技術振興機構（JST）主 催）が開催されました

[http://www.tohoku.ac.jp/japanese/
2016/08/news20160824-01.html](http://www.tohoku.ac.jp/japanese/2016/08/news20160824-01.html)

2016 年 8 月 17 日（水）～20 日（土）
の 4 日間にわたり、平成 28 年度サイエ
ンス・リーダーズ・キャンプ（SLC）
「革新的な未来を拓く医工連携人材育成
の現場」が開催されました。

医工学研究科のプログラムには、
JST・SLC 推進委員会による選考を経て、
全国各地の高等学校・中学校から理科の
先生 20 名が受講しました。JST からの
視察者も一緒に 3 泊 4 日の合宿に参加さ
れ、基調講演、3 コマの講義、計 12 時
間以上に及ぶ実習と、星陵・青葉山キャン
パスの研究室訪問、川内体育館での運
動負荷試験の体験、手術室・医療機器や
共通機器室の超解像顕微鏡の見学、グル
ープ討論、コーチング実習、受講者同士
の交流会、講師・研究者との懇親会など
を通じて、最先端の医工学研究に触れ、
生命科学・医工学の実験を体験し、次世
代の研究・開発人材育成について学ぶと
共に、理科教員間の交流が図られました。

最終日の閉講式には、金井副学長の講
話後、出江研究科長から受講者に受講証
明証が渡されました。

東京大学

告 知

◎東京大学駒場祭

<http://www.komabasai.net/67/visitor/>

日 時 2016 年 11 月 25 日（金）～27 日（日）
会 場 東京大学駒場キャンパス

◎東京大学コーロ・ソーノ合唱団第 63 回定期演奏会

<http://corosono.info/>

日 時 2016 年 11 月 20 日（日）

17：30 開演

会 場 パルテノン多摩大ホール
参加費 1,000 円

◎東京大学音楽部合唱団コールアカ デミー第 63 回定期演奏会

<http://www.chor.jp/>

日 時 2016 年 12 月 11 日（日）
16：00 開演

会 場 東京大学本郷キャンパス
大講堂（安田講堂）

参加費 無料・事前申込制・全席自由

◎東京大学柏葉会合唱団第 63 回定期演奏会

<http://hakuyokai.com/?p=462>

日時 2016 年 12 月 28 日 (水)

16:00 開演

会場 杉並公会堂大ホール

参加費 1,000 円全席自由

◎東京大学音楽部女声合唱団コーロ・レティツィア第 7 回定期演奏会

<http://letizia.web.fc2.com/>

日時 2017 年 1 月 14 日 (土)

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター小ホール

◎ラグビー部対抗戦のご案内

http://www.turfc.com/gamerrugby_list/

東大×上智大

日時 2016 年 11 月 13 日 (日)

14:00 Kick off

会場 東大駒場キャンパスラグビー場

東大×武蔵大

日時 2016 年 11 月 27 日 (日)

14:00 Kick off

会場 武蔵大学朝霞グラウンド

◎東大観世会・OB 会合同自演会のお知らせ

<http://www.geocities.co.jp/CollegeLife-Circle/5719/>

日時 2016 年 12 月 17 日 (土)

会場 矢来能楽堂

◎次世代育成オフィス ONG「女子中高生のみなさん 東大生研で最先端の工学研究に触れてみよう! 2016」

<http://www.iis.u-tokyo.ac.jp/ja/news/2573/>

日時 2016 年 11 月 13 日 (日)

会場 東京大学生産技術研究所 An 棟
3 階大会議室

参加費 無料・先着申込順

◎CSIS DAYS 2016「全国共同利用研究発表大会」

<http://www.csis.u-tokyo.ac.jp/csisdays2016/>

日時 2016 年 11 月 17 日 (木) ~18 日 (金)

会場 東京大学柏の葉キャンパス駅前サテライト 1 階多目的ホール

参加費 無料・事前申込不要

報告

◎平成 28 年度東京大学秋季学位記授与式・卒業式を挙行

http://www.u-tokyo.ac.jp/ja/news/topics/topics_z1301_00015.html

平成 28 年度東京大学秋季学位記授与式・卒業式が、9 月 16 日 (金) に、安田講堂において英語で挙行されました。

五神総長から各研究科の修了生代表と教養学部の卒業生代表に、順次、学位記が授与され、修了生及び卒業生に告辞が述べられました。

修了生総代 (大学院学際情報学府博士課程竹内俊貴さん) 及び卒業生総代 (教養学部リン・カンシェン・シュンジさん) から答辞が述べられました。

◎東京大学 RoboTech が ABU ロボコン大賞を受賞しました

<http://www.official-robotcon.com/jp/abu/abu2017/result.html>

東京大学 RoboTech (顧問: 大学院情報理工学系研究科國吉康夫教授) は、「NHK 学生ロボコン 2016—ABU アジア・太平洋ロボットコンテスト 2016 タイ・バンコク大会代表選考会—」において優勝し、日本代表として、「ABU アジア・太平洋ロボットコンテスト 2016 タイ・バンコク大会」に出場しました。準決勝でわずかの差で敗退となりましたが ABU ロボコン大賞を受賞しました。

名古屋大学

告知

◎都市の木質連続講座「森と町を元気に、木で豊かな暮らしをつくるWOODistの育成」

http://www.nagoya-u.ac.jp/event/upload_images/2067630cf99f663e6325808288fc2068.pdf

日時 2016年11月5日(土)、12月17日(土) 13:00~16:00

会場 名古屋大学農学部講義棟3階
第1講義室

参加費 無料

◎ミニ企画展 看護の力ー医学部史料室所蔵資料に見る看護のあゆみー

http://www.nagoya-u.ac.jp/event/upload_images/5b42af3e70be15fc326fc64c1d04e76f.pdf

日時 開催中~2017年1月31日(木)
平日 9:00~20:00
土曜 13:00~17:00
1月5日・6日 9:00~17:00

休館 日曜・祝日、12月28日から31日、1月1日~4日、7日

会場 名古屋大学附属図書館医学部分館
2階入口ホール

参加費 無料

特別講演会

名古屋大学大学院国際言語文化研究科
教授福田眞人氏

「結核のロマン化と病気の本質」

日時 2016年12月16日(金)
14:00~15:30

会場 名古屋大学医学部基礎研究棟1階
会議室2

参加費 無料・事前予約不要

◎第18回まちとすまいの集い しなやかな人・建築・都市

http://www.nagoya-u.ac.jp/event/upload_

[images/900037f8d4b31f9b774ad948ef213c9f.pdf](http://www.nagoya-u.ac.jp/event/upload_images/900037f8d4b31f9b774ad948ef213c9f.pdf)

日時 2016年11月19日(土)
13:20~16:30

会場 名古屋大学 ES 総合館 ES ホール

参加費 無料

定員 200名

◎名古屋大学博物館 野外観察園見学会

<http://www.num.nagoya-u.ac.jp/event/garden/2016/161123.html>

日時 2016年11月23日(水・祝)
13:00~14:00 観察園見学

14:00~15:00 電子顕微鏡観察

会場 名古屋大学博物館野外観察園(現地集合) 雨天決行

参加費 無料・事前予約不要

※電子顕微鏡観察は抽選20名まで

天候により日よけの帽子、雨具などをお持ちください。また汚れてもいい服装、歩きやすい靴でご参加ください。

◎ミクロの探検隊 R ミクロの世界をのぞいて放散虫の進化に触れよう!

<http://www.num.nagoya-u.ac.jp/event/micro/2016/161223.html>

日時 2016年12月23日(金)
13:00~16:00

会場 名古屋大学博物館

参加費 500円(保険料等)・事前予約

持ち物 筆記用具、あればコンパクトカメラ

※応募多数の場合は抽選となりますが、小中高生を優先となります。

報告

◎名古屋大学教育学部附属中学校2年の藤井聡太さんが史上最年少で将棋のプロ入りを決めました

<http://www.nagoya-u.ac.jp/info/2.html>

名古屋大学教育学部附属中学校の藤井聡太さんが第59回奨励会三段リーグ戦で1位の成績をおさめ、加藤一二三九段の14歳7ヶ月の記録を5ヶ月更新し、史上最年少の14歳2ヶ月でプロ棋士となる四段に昇段することが決まりました。

◎山岡耕春環境学研究科附属地震火山研究センター教授が平成28年防災功労者防災担当大臣表彰を受賞

京都大学

告知

◎2016 Lecture series —研究の最先端—

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events_news/department/sougou/events/2016/161112_1525.html

2016年度からキックオフする新レクチャーシリーズでは、先端研究をリードする京大研究者の魅力を総合博物館長が対談形式で引き出す新しい開催スタイルに挑戦します。中高生の参加も大歓迎です。

日時 2016年11月12日(土)

会場 京都大学総合博物館

定員 約40名

どなたでも参加いただけます。

参加費 事前登録不要・2016 Lecture seriesへの参加は無料ですが、別途総合博物館への入館料が必要です。(一般:400円、高校・大学生:300円、小・中学生:200円)

◎第32回京都賞記念ワークショップ「免疫分子遺伝学からがん制圧への道」

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events_news/office/soumu/shogai/event/2016/161112_1048.html

第32回京都賞基礎科学部門を受賞した本庶佑京都大学名誉教授が基調講演を

<http://www.nagoya-u.ac.jp/about-nu/public-relations/award/20160908.html>

山岡教授は最先端の研究や幅広い知見を踏まえ、様々な場を通じて防災行政への有用な提言を行っています。その他、講演会、防災教育等を通じて地域の防災力向上に貢献するなど、多岐にわたる活動を行っており、防災体制の整備に多大な貢献をした功績が評価されました。

行う、京都賞記念ワークショップが開催されます。

日時 2016年11月12日(土)

会場 京都大学百周年時計台記念館
百周年記念ホール

定員 450名(先着順)
どなたでも参加いただけます。

使用言語 英語

参加費 無料

Webサイトよりお申し込みください。

<http://www.kyotoprize.org/>

◎非感染性疾患(NCDs)シンポジウム2016 心臓病、脳卒中、がん、糖尿病、肺疾患の予防をめざして—腸内フローラと生活習慣—

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events_news/department/igaku/events/2016/161204_1505.html

心臓血管病、脳卒中、がん、糖尿病、肺疾患などの非感染性疾患の予防と対策について、それぞれの分野の専門家による市民講座です。

日時 2016年12月4日(日)

会場 国立京都国際会館

定員 230名
どなたでも参加いただけます。(ただし健康チェックブースは100名)

Ncd@npo-apsc.jp までメールでお申し込みください。

締切日 2016年11月18日(金)

◎女子高生・車座フォーラム 2016

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events_news/office/soumu/jinji/events/2016/161223_1045.html

京都大学はどんなところ？大学ではどんな勉強や研究をするの？大学卒業後の進路にはどんなものがあるの？いろいろな疑問にお答えする「女子高生・車座フォーラム」が開催されます。

日時 2016年12月23日(金)

会場 京都大学国際科学イノベーション棟シンポジウムホール、他

対象 女子高校生およびその保護者

定員 女子高校生 100名程度(先着順)・保護者 50名程度

以下のWebサイトをご覧ください、お申し込みください。

男女共同参画推進センター Web サイト

<http://www.cwr.kyoto-u.ac.jp/>

申込締切日 2016年11月25日(金)

報告

◎総合生存学館、理学研究科および宇宙総合学研究ユニット、太陽系外惑星データベース「ExoKyoto (ExoplanetKyoto)」がWeb上で公開されました

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research/events_news/department/seizongaku/news/2016/160831_1.html

山敷庸亮総合生存学館教授、佐々木貴教理学研究科助教、土井隆雄宇宙総合学

研究ユニット特定教授(宇宙飛行士)らの太陽系外惑星データベース「ExoKyoto (ExoplanetKyoto)」がWeb上で公開されました。

ExoKyotoは、京都大学が現在までに蓄積してきた恒星観測の情報や結果とともに、新たなハビタブル・ゾーン(生命が居住可能な領域)の計算方法や複数の定義比較できる、世界初の公開プラットフォームです。

すでに発見された3,500個以上の系外惑星だけではなく、120,000個以上の恒星データベースを取り込んでおり、そのすべての恒星に対してハビタブル・ゾーンの計算が可能です。

◎京都大学サマースクール 2016 「暑い夏の1日、京大生になろう！」が開催されました

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/admissions/events_news/office/kyoiku-suishin-gakusei-shien/nyushi-kikaku/news/2016/160819_1.html

「京都大学サマースクール 2016」が、吉田キャンパスで開催されました。対象は、大阪府・滋賀県・兵庫県・京都府・京都市・和歌山県・三重県・東京都・石川県・徳島県・徳島市・福井県教育委員会および奈良県における連携指定校の高校生です。模擬授業では、各学部および研究所・センターの協力を得て、文系理系あわせて30テーマが開講されました。受講者は78校、1,174名となり、キャンパスは多くの高校生でにぎわいました。

大阪大学

告知

◎大阪大学医学部中之島祭 一環 cycle—

<http://www.nakanoshimasai.com/index.html>

中之島祭とは

大阪大学医学部の学園祭は、医学部が中之島にあった頃から、「中之島祭」として親しまれてきた歴史ある行事です。

日時 2016年11月20日(日)

会場 大阪大学吹田キャンパス

◎大阪箕面から世界に～ハイブランド
になるまでの軌跡～（アントレプレ
ナーシップ・スピーカーシリーズ）

[http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/
seminar/2016/11/7090](http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/seminar/2016/11/7090)

MISOKA という高級歯ブラシブランド
をご存じでしょうか？ 歯磨き粉なしで
つるつるに歯を磨ける歯ブラシはサイエ
ンスとデザインの結晶です。歯ブラシを
開発したのは何と箕面にあるベンチャー
企業です。箕面から世界へ飛び出た本物
のイノベーターの生の声を聞いてみませ
んか？

日時 2016年11月8日（火）

18：30～20：00

会場 大阪大学吹田キャンパス産連本部
D棟2階会議室

スピーカー 辻陽平氏

（（株）夢職人代表取締役）

コーディネーター 松原輝昌氏

（大阪大学准教授）

参加費 無料・要事前登録 氏名、所属、メ
ールアドレスを明記の上、件名を
「辻氏講演会」とし、[edge@celas.
osaka-u.ac.jp](mailto:edge@celas.osaka-u.ac.jp)宛てにメールでお
申し込みください。

◎手紙で読み解くシルクロード～千
年前の敦煌文書から（Handai-
Asahi 中之島塾）

[http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/
seminar/2016/11/7073](http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/seminar/2016/11/7073)

日時 2016年11月12日（土）

10：30～12：00

講師 坂尻彰宏氏

（大阪大学全学教育推進機構准教授）

◎加齢による難聴の原因と対処法
（Handai-Asahi 中之島塾）

[http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/
seminar/2016/11/7074](http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/seminar/2016/11/7074)

日時 2016年11月19日（土）

10：30～12：00

講師 太田有美氏

（大阪大学大学院医学系研究科助教）

◎瞬きの科学～我々は何のために瞬
きをするのか（Handai-Asahi
中之島塾）

[http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/
seminar/2016/12/7075](http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/seminar/2016/12/7075)

日時 2016年12月3日（土）

10：30～12：00

講師 中野珠実氏

（大阪大学大学院生命機能研究科准
教授）

◎超高齢社会における成年後見と相
続・遺言（Handai-Asahi 中之
島塾）

[http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/
seminar/2016/12/7076](http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/seminar/2016/12/7076)

日時 2016年12月3日（土）

15：00～

講師 床谷文雄氏

（大阪大学大学院国際公共政策研究
科教授）

◎米国新政権と日米同盟の将来
（Handai-Asahi 中之島塾）

[http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/
seminar/2016/12/7077](http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/seminar/2016/12/7077)

日時 2016年12月10日（土）

10：30～12：00

講師 坂元一哉氏

（大阪大学大学院法学研究科教授）

上記ご案内の5講座の会場・参加費は以
下です。

会場 大阪大学中之島センター

参加費 1,620円

Webにて要事前登録

◎大阪大学吹奏楽団第 46 回定期演奏会

<http://ouwo.biz/concert/>

九州大学

告知

◎第 69 回九大祭「いとをつなぐ」開催

<http://www.kyudaisai.jp/>

日時 2016 年 11 月 19 日 (土)・20 日 (日)

会場 九州大学伊都キャンパス

◎九大フィルハーモニーオーケストラ 第 197 回定期演奏会

<http://kyudaiphil.com/concert/>

日時 2016 年 12 月 18 日 (日)
14:00 開演 (13:00 開場)

会場 アクロス福岡シンフォニーホール

参加費 全席自由 1,000 円

※未就学児無料

◎九州大学総合研究博物館公開展示「九大百年 美術をめぐる物語」開催中

<http://www.museum.kyushu-u.ac.jp/event/index.html#koukai>

本展は 3 つの会場からなります。メイン会場の福岡県立美術館では仙厓や同時代美術のコレクターであり、美術評論家としても活躍した医学者・中山森彦の活動、九大工学部壁画を描いた洋画家・青山熊治の福岡における活動、九大の歴代の総長や教授たちを描いた肖像画、九大ととりわけ深いゆかりを持つ作家や作品などの美術作品を通して、様々な視点から九大百年の歩みをたどっていきます。サテライト会場である九州大学総合研究博物館や九州大学医学歴史館では、植物画や昆虫画、考古学資料、ムラージュ等、

日時 2016 年 12 月 24 日 (土)

会場 メルパルク大阪ホール

※開演時間は左記 URL でご確認ください。

大学ならではの様々な博物資料を展示し、「美術」の周辺にある事象についてご紹介いたします。

日時 開催中～2016 年 11 月 13 日 (日)

メイン会場 福岡県立美術館

サテライト会場Ⅰ 九州大学総合研究博物館

サテライト会場Ⅱ 九州大学医学歴史館

報告

◎九州大学、富士通研究所、糸島市が AI を用いた共同実証実験開始

<http://www.kyushu-u.ac.jp/ja/topics/view/1110>

2016 年 8 月 24 日 (水)、九州大学と (株) 富士通研究所および糸島市は、AI (人工知能) を用いて、地方都市への移住希望者と移住候補地を適切にマッチングさせるための共同実証実験開始の記者発表を、糸島市役所で行いました。

◎国際技術コンテスト TECO Green Tech 2016 にて九州大学学生チームが準優勝

<http://www.kyushu-u.ac.jp/ja/topics/view/1114>

2016 年 8 月 23 日 (火)、九州大学ロバート・ファン／アントレプレナーシップ・センター (QREC) の学生の独創的活動支援のひとつであるグローバル・チャレンジ & クリエイション (G.C & C) に採択された九州大学学生チーム「次世代風力開発プロジェクト」が TECO Green Tech 2016 に参画し、見事準優勝を果たしました。

同窓会案内・開催報告

七大学共通

報告

◎巣鴨会トークンセッションが開催されました

旧七帝大の若手卒業生（45歳以下）を主な対象とする奇数月交流会・巣鴨会では、2016年9月4日（日）、フォトジャーナリスト・安田菜津紀氏をお迎えしてトークンセッションが開催されました。

トークンセッションではフォトジャーナリストを志したきっかけを皮切りに、「奇跡の一本松」など東日本大震災を巡る写真や、シリアの難民キャンプの現状をえぐる写真などがエピソードとともに紹介されました。

続く懇親会では安田氏も交え、参加者がそれぞれに職種も年代も超えた交流を深めました。

次回は、11月に小金井公園でバーベキューを開催予定です。お問い合わせ・巣鴨会への入会お申し込みは、久保真一会員（九大・法・平15）までご連絡ください。

【連絡先】 kubo@wind.ocn.ne.jp



トークンセッションの様子



安田菜津紀氏をかこんで

◎七大学若手会第5回講演会が開催されました

2016年7月23日（土）、学士会館にて七大学若手会（会長：許志国氏京大修士）第5回講演会・年次総会が開催され、48名（男35名、女13名）の参加がありました。

今回の講演会は、学士会共催、名古屋大学全学同窓会、京都大学、大阪大学後援、青島ビール社の協賛で行われました。

講演会では、元伊藤忠商事（株）代表取締役会長丹羽宇一郎氏（元駐中国大使）が「私の青春時代」と題し、ご自身の学生時代から社会人時代までの経験を踏まえ、読書力、行動力、教養力の重要性を力説されました。懇親会では、ジェスチャーゲームを行い、大変盛り上がりました。

今回開催の活動は、中国語メディアにも取り上げられました。幹事団の準備と当日の様子は、若手会 Web サイトと若手新聞に掲載していますのでご覧ください。

【七大学若手会 Web サイト】 <http://wakatekai.jp>



北海道大学

告知

◎北大山岳部創立 90 周年記念式典・
祝賀会が開催されます

http://aach.ees.hokudai.ac.jp/pub/aach_90th.pdf

【日 時】 2016 年 11 月 6 日 (日)
式典 13:30~14:45
祝賀会 15:00~17:00

【会 場】 学生会館 210 号室
【参加費】 10,000 円 (同伴 5,000 円)

東北大学

告知

◎「ニューイヤーコンサート ウィーン交響楽団—ヨハン・シュトラウス・アンサンブル—」のご案内

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/alumni/premium.html>

東北大学萩友会では、萩友会プレミアム(会費納入)会員を対象に、優待チケットの販売を行っています。チケットは、当日、受付で萩友会会員証(カード)を提示していただき、その場で現金とお引替えです。

【日 時】 2017 年 1 月 7 日 (土)
13:30 開場

【会 場】 東北大学百周年記念会館川内萩ホール

萩友会プレミアム(会費納入)会員優待割引価格、一般 S 席 5,500 円のところ 4,500 円(通常より 1,000 円引)、おひとり

様につき 4 枚までお申し込み可能です。

購入方法は萩友会 Web サイトでご確認ください。

報告

◎福島萩友会総会・講演会・懇親会が開催されました

<http://www.bureau.tohoku.ac.jp/alumni/topics16.html#160831>

2016 年 8 月 23 日(火)、ホテル福島グリーンパレスにて福島萩友会総会・講演会・懇親会が開催されました。東北大学から、里見進総長、青木孝文副学長、長谷川史彦教授がご出席になり、平成 28 年度総会の後、元県立磐城桜が丘高校校長守屋早苗氏による『芭蕉が越えた“月の輪の渡し”は?』と題した講演会と懇親会が行われました。

告知

◎東大 OG による東大女子学生のための就職・進学ガイダンス 2016

【日 時】 2016 年 11 月 29 日 (火)
18:30~20:30

【会 場】 東京大学本郷キャンパス
山上会館地階会議室 001

【会 費】 無料・服装自由・事前申込制
(席に余裕があれば当日参加も可)
下記 URL よりお申込みください。

<https://ssl.kokucheese.com/event/entry/422665/>

◎さつき会 2017 年新年会が開催されます

【日 時】 2017 年 2 月 10 日 (金)
18:30~ (18:00 受付開始)

【会 場】 学士会館レストラン「Latin」

【会 費】 5,000 円 + 飲み物代

下記 URL よりお申込みください。

<https://ssl.kokucheese.com/event/entry/413000/>

◎東京銀杏会主催留学生と交流する会が開催されます

<http://tokyo-ichokai.com/information/hobby/9310>

東京大学で学んでいる外国人留学生と東京銀杏会会員が交流するバザーパーティが開催されます。

【日 時】 2016 年 12 月 17 日 (土)
詳細は下記世話人までご連絡ください。

【連絡先】 田中寿徳氏
hisanori_tanaka1125@fides.dti.ne.jp

報告

◎第 35 回オランダ淡青会総会が開催されました

2016 年 7 月 9 日 (土)、アムステルダム

にて第 35 回オランダ淡青会総会が開催されました。オランダ淡青会は 1980 年に発足した歴史ある会ですが、今回は初めて女性会員出席者数が男性会員を上回り、また理系出身者が文系出身者よりも多い会合となりました。

更にオランダに留学中の現役学部生も初参加し、例年以上に多様なバックグラウンドを持つ会員が集い、オランダ淡青会ならではのネットワークを築くことができました。

会のメインイベントとして、オランダ国立素粒子物理学研究所で重力波の研究に携わっている我妻一博氏に、昨今話題の重力波検出について観測当時者として講演していただき、出席者と活発な質疑応答がなされました。

(オランダ淡青会 小柳尚子氏より)



◎北海道銀杏会第 25 回講演会が開催されました

<http://www.hokkaido-ichokai.net/kako/2016/kouenkai25.pdf>

2016 年 8 月 10 日 (水)、ホテルサンルートニュー札幌 2 階「中国料理紅燈籠」にて、北海道銀杏会第 25 回講演会が開催されました。北海道電力(株)企画部経営管理グループリーダー尾崎伊智朗氏による「電力の自由化と今後の電力事業について」と題した講演が行われました。尾崎氏は、地球温暖化や大震災などを背景に、電力供給をと

りまく環境は大きく変化しているが、科学的で適切な原子力発電への対処が極めて重要であると力説されました。質問は途切れ

る様子もなく盛り上がり、時間切れとなるほど充実した講演会でした。

名古屋大学

告知

◎名古屋大学農学部同窓会（セコイア会）関東支部第19回総会が開催されます

<http://www.nua-alumkanto.net/>

【日時】 2016年11月19日（土）
13:10～17:10

【会場】 学生会館203号室

総会報告のあと、日本大学生物資源科学部教授甲斐藏氏による特別講演『コンパニオン・アニマルと暮らす』と、海外貨物検査（株）原田（旧姓鈴木）亜由美氏による特別講演『タイでの駐在生活について』が行われ、懇親会へと移ります。

詳細は、送信者の氏名と卒業年度を必ず記述の上、alum-kan@agr.nagoya-u.ac.jpまでお問い合わせください。

京都大学

報告

◎「一般社団法人京都大学アメリカンフットボールクラブ」が設立されました

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/research/events_news/department/sankangaku/news/2016/160826_1.html

このたび、「一般社団法人京都大学アメリカンフットボールクラブ」（以下、京大アメフットクラブ）が設立されました。

アメリカンフットボール部の部員や指導者、OBなどの関係者が中心となって設立された京大アメフットクラブは京都大学が社員として参画し、財務・経理・指導者（監督・GM・コーチ等）人事の透明化を図り、活動資金・寄付金募集による長期にわたる

自主財源を獲得することで安定した経営を目指します。

◎京都大学技術士会第4回大会・特別講演会が開催されました

http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/social/events_news/office/soumu/shogai/news/2016/160903_1.html

2016年9月3日（日）、京都大学技術士会第4回大会・特別講演会が北とぴあ（東京都北区）にて開催されました。京都大学技術士会は、技術士の資格をもつ京大卒業（修了）生と教職員で構成され、会員数は600名近くにのぼります。大会は毎年1回、京都と東京で交互に行われ、今回は46名の参加がありました。

大阪大学

告知

◎大阪大学リーダーズフォーラムが開催されます

【日時】 2016年2月14日（火）
15:30～19:00

【会場】 学生会館
【連絡先】 大阪大学卒業生室

【TEL】 06-6879-7196

【E-mail】 alumni-info@ml.office.osaka-u.ac.jp

詳細は大阪大学公式サイトをご確認ください。
さい。

〈参考（昨年のお知らせ内容）〉

http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/event/2016/02/16_01

◎大阪大学の集い（東京）が開催されます

http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/event/2016/12/03_01

師走の恒例行事「大阪大学の集い」が今年も学生会館で開催されます。

【日時】 2016年12月3日（土）
14:30 受付開始予定

【会場】 学生会館

【会費】 3,000円
(当日受付時に申し受けます。)

【対象】 大阪大学・大阪外国語大学の卒業生、教職員OB・OG、学生、教職員など大阪大学関係者

要申し込み

※お申し込み方法については、上記URLでご確認ください。

※未成年者の飲酒はできません。

九州大学

告知

◎九州大学経済学部同窓会関西支部主催勉強会が開催されます

https://koyukai.kyushu-u.ac.jp/alumni/4/association_events/detail/285

九州大学経済学部同窓会関西支部恒例の「秋の勉強会」が開催されます。

【日時】 2016年11月12日（土）
14:00～

【会場】 グランド白楽天阪急32番街27階

【講師】 清水逸雄氏（経・昭29年卒・

報告

◎岡山で「大阪大学の集い」が初開催され約170名の参加がありました

http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/topics/2016/08/0823_01

2016年8月20日（土）、「大阪大学の集い」が初めて岡山市・岡山コンベンションセンターで開催され、おもに中国・四国地域在住の大阪大学・大阪外国語大学の卒業生、大学関係者ら「阪大ファミリー」約170名が集いました。

西尾章治郎大阪大学総長が大学の近況報告を行い、学生会理事でもある熊谷信昭大阪大学同窓会連合会会長（第12代総長）からご挨拶がありました。続いて吉川秀樹大阪大学理事・副学長による、「適塾」の創設者であり現在の岡山市出身の緒方洪庵の生涯について「『洪庵のたいまつ』を継ぐ」と題した講演が行われ、参加者は真剣に聴き入りました。

懇談会の部は、大阪大学工業会（工学部同窓会）岡山支部長の水内淳一氏の乾杯の発声でスタートし、久しぶりの再会やこの会を通じた新たな交流など、会場に歓談の輪が広がりました。

元大日本製菓常務)

【演題】 「元気で長生きするために」

参加ご希望の方は九州大学経済学部関西支部事務局 中野氏 m-nakano@fujiseihan.co.jp までお申し込みください。

報告

◎九州大学歯学部創立50周年記念スローガンが決定

<http://50th.dent.kyushu-u.ac.jp/slogan2.html>

九州大学歯学部では、今春、次の50年への躍進にむけたスローガンの募集が行われ、34題の応募がありました。選考メンバーによる厳正な審査の結果、以下の1題が九州大学歯学部創立50周年記念会「次の50年への躍進にむけたスローガン賞」が決定しました。

「継承・躍進・牽引」

受賞者 中西正光氏
コンセプト

「先人たちの歴史・叡智を「継承」し、今を生きる我々が、さらに「躍進」させ、世界をリードし「牽引」していくような九州大学歯学部を目指す」

受賞者への表彰式は2016年8月17日(水)に、歯学部会議室において行われました。

◎九州大学経済学部同窓会関西支部主催秋のゴルフ会が開催されました

http://koyukai.kyushu-u.ac.jp/alumni/4/association_news/detail/632

2016年9月10日(土)、恒例の秋のゴルフ会「第54回九経会」が愛宕原ゴルフ倶楽部にて開催されました。当日は絶好のゴルフ日和に恵まれ、経済学部から9名、法学部から2名、その他1名の総勢12名が腕を競いました。

次回のゴルフ会は、2017年3月11日(土)、愛宕原ゴルフ倶楽部にて予定されていますので、学部を問わず奮ってご参加ください。

◎2016年九州大学関西同窓会夏季ビアパーティーが開催されました

http://koyukai.kyushu-u.ac.jp/alumni/65/association_news/detail/628

2016年8月1日(月)、ハートンホテル北梅田にて夏季ビアパーティーが開催されました。

講演会では、九州大学大学院比較社会文化研究院客員教授・国立極地研究所の本吉洋一氏からの「南極から見た地球環境変動」についての講演がありました。

懇親会は、上野至大九州大学関西同窓会会長(工・昭42年卒)のご挨拶、松崎昭九州大学関西同窓会副会長(工・昭41年卒)の乾杯のご発声で幕を開けました。

新入会員のスピーチでは、卒業後の経験談や、九州大学関西同窓会を知ったきっかけ、九州大学関西同窓会が学部を超えて様々な方と交流ができ、楽しく有意義であることなどの感想が述べられました。恒例のコールアカデミー演奏は、若手の参加を得てメンバーが舞台上に乗り切れないほどで、アンコールまで盛り上がりました。

最後は応援団OBのリードにより、全員で学生歌「松原に」を歌って閉会しました。今回の参加者は79名(うち女性が6名、平成卒が29名)で、新入会員は20名とだんだん増加しています。

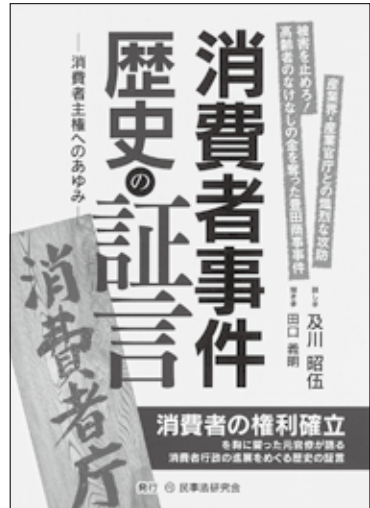
会 員 通 信

会員著作物紹介

『消費者事件 歴史の証言—消費者主権へのあゆみ—』（民事法研究会）

高度成長期に、ヒ素ミルク事件、サリドマイド事件など死者が100人を超える消費者事件が多発した。これを受けて50年前に日本の消費者行政が発足したが、消費者の権利は認められなかった。政府で国民生活局長、国民生活センター理事長などを務めた著者が、製造物責任法、消費者契約法の制定などを経て「消費者の権利」確立までの長い闘いの歴史を、裏話を含めて証言する。経営者、法務、消費者問題関係者に推奨する。

（及川昭伍 会員 東北大・法・昭29）



『新制大学の誕生（上・下）』（名古屋大学出版会）



危機に立つ現代日本の大学——直面する困難な課題のルーツは、戦中から戦後への大転換期にある。

大学大衆化の道を開いたわが国最大の学制改革は、どのような経緯と論議を経て準備され実施されたのか。文部省と審議会、それに戦中は軍部、戦後はアメリカ占領軍との間の葛藤をはらんだ三つ巴の関係と、そこでの選択と決定の過程を解き明かし、大学・学校が否応なく迫られた変革の現実を描く。

（天野郁夫 会員 東大・教育博・教育・昭36）

『大東亜戦争に係る歴史認識 歴史に学ばざれば未来危うし』 (ST 文化研究所)

「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」はドイツの宰相オットー・ビスマルクの言である。

筆者は前著『追憶の海軍』で「海軍は何故敗けると解っている戦争を始めたのか」論じた。今回は『大東亜戦争に係る歴史認識』と題し、先の戦争の、日本が加害者／被害者とされている事象とその史実認識について述べ、更に喫緊の課題として「軍事力による膨張政策をとり続ける中華人民共和国に如何に対峙すべきか」論じている。

(伊藤高頭 会員 東大・工・昭 40)



『戦没学徒 木村久夫の遺書—父よ嘆くな、母よ許せよ、私も泣かぬ—』 (桜美林大学北東アジア総合研究所)



『きけ わだつみのこえ』(岩波文庫)の中でも木村久夫の文章は白眉の文章と評されている。経済学者を目指して学問研究に情熱を燃やしていた京大生の木村は、学半ばで徴兵され、敗戦直後に高級将校たちの謀議によって罪を被せられ、非業の死を遂げた。本書は処刑の日を前に獄中で綴った遺文(獄中で「哲学総論」の余白に書いた「手記」と処刑半時間前に擱筆した「遺書」)を詳細に解説したものである。

(中谷彪 会員 東大・教育修・昭 43)

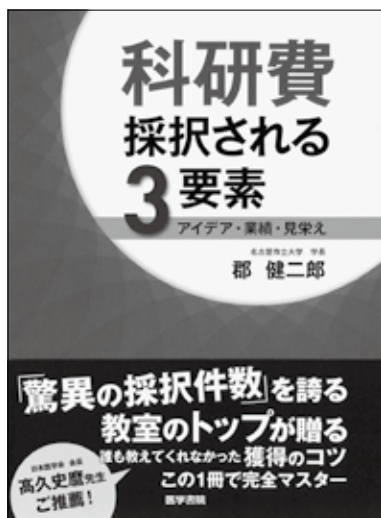
『和食とうま味のミステリー 国産麴菌オリゼがつむぐ千年の物語』 (河出書房新社)

フレンチや中華がバターや油をたくさん使い濃厚なうま味をだすのに対し、和食は油の使用量が少ないのにおいしく感じられる。その秘密は醤油・味噌・味醂などの調味料にある。これらは、麴を使って造られるので、和食の味のキープレイヤーは麴菌ということができる。私は永らく麴菌の研究をしてきたが、本書では世界最古のバイオビジネスといえる種麴屋の存在から、最近のゲノム解析からわかった麴菌の家畜化などについて記述した。

(北本勝ひこ 会員 東大・農博・農・昭47)



『科研費 採択される3要素 アイデア・業績・見栄え』 (医学書院)



わが国の研究費は諸外国に比べ漸減し、世界大学ランキングにおける順位も下がり、研究力は停滞しています。

研究力を高めるには、若い研究者がアイデアに富んだ研究を行い、業績を地味に積み上げることです。

しかし、これだけでは科研費などの研究費は獲得できません。申請書の見栄えも大切です。

拙書では、これら3要素を、細目(泌尿器科)の中で科研費採択件数が日本一(文科省HP)の実績と経験をもとに詳しく説明されています。

(郡健二郎 会員 阪大・医博・医・昭48)

『民間裁判外紛争解決（ADR）の実証的考察 私的解決から見る「合意なき合意」の伏流』

（風塵社）

紛争解決とは何か、法を基準とする解決の枠組では捉えられない紛争解決もあるのではないか、その様な解決を可能にする調停もありうるのではないかとこの問いに日本のADRの基本的なあり方、民間ADRの現状を検討することを通じて、「法を基準とする」調停スタイルの問題性を指摘する。そして紛争解決とはどのようなことを言うのか、事例を手がかりとしてこの問いに答えようと試みる。そして民間ADRの限界について論じ政策提言を行うものである。
※購入希望の方は、直接 2511000@mail.goo.ne.jp までご連絡ください。

（櫻井良生 会員 阪大・法博・法修・平 23）



会員活動報告

絵を描く楽しさについて

私は北大工学部出身の者であるが、北大美術同好会のOB会である東京黒百合会に所属し、会社勤務で現役の頃から絵を描き続け、長年公募展にも出品している。東京黒百合会は展覧会以外にもHPと会報を充実させ、いろいろと行事を行い、交流を深めているが、北大出身者以外の方にも門戸を広げている。掲載の絵（巻末カラー 43頁・上「佃島」）は、以前グループ展に出品した作品で、スケッチをもとに描いた水彩画である。風景画の場合、同じ場所に行って写生する機会が多いが、いつの間にか絵の対象の建物が消えたり改装されたりしているのに遭遇すると寂しくなる。佃島もその一つで、たまたま展覧会を参観された方がこの絵を見て、この家に昔下宿していたのだと言われたことがあった。今は変わっていてこの絵は懐かしい絵となっている。絵はどの絵もそれなりの意味と魅力を秘めているものと思う。絵を描く楽しさを多くの方が知ってくださることを望む。

（牧野尊敏 会員 北大・工・昭 39）

『NU7』原稿

『NU7』では、「表紙写真」「会員通信」「同窓会案内・開催報告」の原稿を会員の皆様から募集しています。
発行部数は5万部以上、会員以外の方にも広く配布しています。

皆様と一緒に作り上げていく学士会の情報誌『NU7』、
たくさんのご投稿をお待ちしています。

表紙写真

- ・写真のテーマは自由です。
- ・2122ピクセル×2977ピクセル（350dpiの場合）以上のカラー・縦組み写真を希望しています（冊子サイズはA5判・天地210mm×148mm）。
- ・横組み写真の場合、トリミングにて対応可の場合がありますが、トリミング位置の指定はできません。
- ・目次頁にも、「氏名・卒業大学・学位・卒年」をクレジット表示して掲載いたします。

会員通信

会員著作物紹介（『NU7』・学生会館展示連動企画）

- ・著作名・著作者・紹介文（200字以内）・著作物表紙写真をお送りください。
ご寄贈いただければ、学生会館談話室に展示いたします。但し、会員本人の著作物であること、一般販売しているものに限りません。

会員ギャラリー（『NU7』・学生会館展示連動企画）

- ・絵画・生け花・陶器などの作品写真などをお送りください（2～3点）。
学生会館学生会ブースへの展示も承ります。

会員活動報告

- ・会員同士の交流やイベントの報告内容（200字程度）・写真（1～2枚程度）をお送りください。

会員の声

- ・テーマは自由です。
- ・800字以内（写真掲載希望の場合、写真は1枚・600字以内）にまとめて、お送りください。

募集のご案内

同窓会「開催告知」及び「開催報告」

開催告知

・同窓会名称・開催日・開催場所・連絡先（問い合わせ先）をお送りください。

開催報告

・開催された会を報告する内容の文章を 300 字以内・写真を 1～2 点お送りください。

//// 投稿にあたって ////

氏名・会員番号（又は、出身大学・卒年・学部）を明記の上、
広報渉外課までメールにてお送りください。

送付先 koho@gakushikai.or.jp

※投稿の受信確認及び、掲載可否の連絡はいたしません。

※掲載作品は『NU7』編集委員会で選定されたものとなり、選考に関する質問にはお答えできません。

※掲載及び、掲載時期は『NU7』編集委員会で決定いたします。

※紙面の都合上、編集させていただく場合がございます。

※原稿（データを含む）は原則として返却いたしません。

※政治・宗教・団体や個人への毀誉褒貶に関わる投稿は受け付けできません。また、差別表現などは修正いただく場合がございます。

※お送りいただきました内容は、学生会交流サイト「謝恩の情」(<http://www.gakushikai-salon.jp>)にも掲載させていただきます。

※著作物・絵画等の展示詳細は、お問い合わせください。

告知 学士会主催



夕食会・午餐会 (2016年11月 [場所] 学士会館
～2017年1月) [参加費] 4,000円 (講演のみ 2,000円)

◎**夕食会** (18:00～食事/18:50～講演/19:50～質疑応答)

11月10日(木) 中野 京子氏 (作家/独文学者)

「西洋名画の知られざる謎」

北海道出身。早稲田大学大学院修士課程修了。専門はドイツ文学・西洋文化史。2016年国立新美術館評議員。『怖い絵』シリーズ全3冊、『名画の謎』シリーズ全4冊、『名画で読み解く』シリーズ全3冊、『名画と読むイエス・キリストの物語』、『新 怖い絵』など著書多数。著者ブログ「花つむひとの部屋」<http://blog.goo.ne.jp/hanatumi2006>

12月12日(月) 久保 文明氏 (東京大学大学院法学政治学研究科教授)

「アメリカ新大統領と今後の日米関係」

1979年東京大学法学部卒業。慶應義塾大学法学部助教授、ジョーンズホプキンズ大学政治学部客員研究員を経て、1993年慶應義塾大学法学部教授。2003年より現職。

1月は休会です。

1月9日(月・祝)に、新春講演会を開催します。

◎**午餐会** (12:30～食事/13:20～講演/14:20～質疑応答)

11月21日(月) 梶田 隆章氏 (東京大学宇宙線研究所長)

「KAGRA プロジェクトと重力波天文学」

1981年埼玉大学理学部卒業。1986年東京大学大学院理学系研究科博士課程修了。2008年東京大学宇宙線研究所所長。2016年東京大学特別栄誉教授。2010年第1回戸塚洋二賞、2012年日本学士院賞、2015年ノーベル物理学賞、文化勲章、文化功労者、基礎物理学ブレークスルー賞など受賞歴多数。

12月は休会です。

1月20日(金) 里見 進氏 (東北大学総長)

「国立大学の今とこれから」

1974年東北大学医学部卒業。東北大学医学部助手、講師を経て、1995年東北大学医学部教授。2004年東北大学病院長。2005年東北大学副学長、2012年より現職。

詳細は、学士会公式サイトまたは事業課まで。

TEL: 03-3292-5955 (平日 9:00～17:00) MAIL: koenkai-info@gakushikai.or.jp



学士会主催・学士会探秀会共催

カトリック神田教会 建物見学会 & 文化財と古楽コンサート

18:10 [集合場所]カトリック神田教会
~20:30 [参加費]3,500円

2016年11月17日(木)

国の登録有形文化財に指定されている「カトリック神田教会」の建物を、学士会探秀会顧問を務める三船康道氏が解説いたします。建物見学会終了後には、「文化財と古楽コンサート」(主催:文化財と古楽コンサート実行委員会)をお楽しみください。

詳細は、学士会公式サイトまたは事業課まで。

TEL:03-3292-5955 (平日9:00~17:00)

URL:http://www.gakushikai.or.jp/



三船 康道氏



学士会主催

第11回女性会

10:00~14:00(予定)

[場所]調整中
[参加費]7,500円

2016年11月26日(土)

「自家製酵母」で作る!クリスマス・シュトーレン&カンパーニュ

「シュトーレン」は、ドイツの伝統的なクリスマスのパンです。夏から仕込んだ何種類ものドライフルーツと一年前から漬け込んだピールをたっぷり使った、贅沢な「シュトーレン」を作りませんか?

「カンパーニュ」も酵母の起こし方から教わります。

※内容は変更になる可能性があります。詳細は、メールアドレスをご登録いただいている女性会員の皆様にメールでご連絡いたします。

詳細は、学士会公式サイトまたは広報渉外課まで。

TEL:03-3292-5950 (平日9:00~17:00)

MAIL:woman@gakushikai.or.jp



学士会・学士会館共催

「親から始める子どものための良縁講座第4弾」

14:00~ [場所]学士会館

2016年11月27日(日)

結婚を希望されているお子様をお持ちの親御様を対象にした人気企画の第4弾です。

お子様とプロフィールと写真をもとに、「5分間お見合い」(異性の子どもを持つ親同士、5分間ずつ順番に全員と交流)や「講演会」を行います。

詳細は、学士会公式サイトまたは事業課まで。

TEL:03-3292-5955 (平日9:00~17:00)

MAIL:jigyoun@gakushikai.or.jp

告知 学士会・名古屋大学全学同窓会主催 名古屋大学後援



名古屋講演会

16:00～講演会
18:00～夕食会

[場 所] 名古屋大学 坂田・平田ホール
[参加費] 無料(夕食会まで5,000円)

2016年12月9日(金)

濱口 道成氏 (国立研究開発法人科学技術振興機構 理事長)

「科学技術の課題と展望」

1980年名古屋大学大学院医学研究科博士課程修了。名古屋大学大学院医学系研究科長を経て2009年名古屋大学総長(第13代)。2015年より現職。

申込締切は、11月25日(金)17:00まで。

詳細は、学士会公式サイト

または名古屋大学全学同窓会 Web サイトまで。

名古屋大学全学同窓会 URL: <http://www.nual.nagoya-u.ac.jp/>



告知 学士会主催



クリスマス家族会 2016

[場 所] 学士会館

[参加費] 大人5,000円 子供2,500円

2016年12月23日(金・祝) A組 12:30～15:00・B組 16:30～19:00

「アキラボーイによるデジタルショー」

今年の催しは、アキラボーイ(日本で唯一のアニメ漫才師)のデジタルショーです。アニメキャラクターとのカワイイ掛け合い漫才や、キャラクターと触れ合うデジタル芸体感コーナー、ゲームの世界に入っている冒険コーナーなど、盛り沢山の内容でお楽しみください。

詳細は、学士会公式サイトまたは事業課まで。

TEL: 03-3292-5955 (平日9:00～17:00)

MAIL: jigyoun@gakushikai.or.jp



アキラボーイ × タヌキチ君

告知 学士会主催



新年祝賀会 2017

12:30～賀宴
13:30～催し

[場 所] 学士会館

[参加費] 4,000円

2017年1月5日(木) 「宝生流能楽師による連吟と仕舞」(藪 克徳氏他)



昭和49年生まれ。19世宗家宝生英照、20代宗家宝生和英に師事。昭和55年「鞍馬天狗」花見で初舞台、平成20年「車僧」にて初シテを勤め、これまでに「翁」千歳、「石橋」、「道成寺」を披く。現在は、自身の同門会「篁風会」を主宰する他、東京大学、相模女子大学のクラブでも指導にあっている。

12月1日(木)より申込受付を開始します。

詳細は、学士会公式サイトまたは事業課まで。

TEL: 03-3292-5955 (平日9:00～17:00)

MAIL: jigyoun@gakushikai.or.jp

告知 学生会主催



平成29年**新春講演会**

19:00～講演会
20:15～懇親会 (立食)

[場 所] 学生会館

[参加費] 4,000円 (講演のみ 2,000円)

2017年1月9日(月・祝) 森田 浩介氏 (九州大学大学院理学研究院教授)

「113番 新元素ニホニウムの発見!!」

1979年九州大学理学部卒業。1993年理化学研究所サイクロトロン研究室先任研究員。2004年自身の研究チームが113番元素を発見。2013年九州大学大学院理学研究院教授。理化学研究所仁科加速器研究センター超重元素研究グループグループディレクター。



12月1日(木)より申込受付を開始します。

詳細は、学生会公式サイトまたは事業課まで。

TEL: 03-3292-5955 (平日9:00～17:00)

MAIL: jigyou@gakushikai.or.jp

告知 学生会主催



土曜(日曜)カフェ

15:00～

[場 所] 学生会館

[参加費] 1,000円

2016年11月26日(土) / 12月11日(日) ※12月はランチ開催です。

毎月最終土曜日に39歳までの会員を対象に、少人数での“カタリバ”土曜(日曜)カフェを開催中です。読書会も行っています。



詳細は、学生会公式サイトまたは会員支援課まで。話し合いたいテーマ也大募集中!

TEL: 03-3292-5932 (平日9:00～17:00)

MAIL: contact@gakushikai.or.jp

報告



学生会・学生会館共催 良縁講座派生企画

男女別「コミュニケーション講座」開催報告

[場 所]
学生会館

2016年8月6日(土) 14:00～15:30 / 8月7日(日) 13:30～15:30

大人気企画「良縁講座」の派生企画として、8月6日(土)に女性限定で「女性のための愛されコミュニケーション講座」を、8月7日(日)に男性限定で「こう話せばうまくいく! 私に役立つ女性との対話講座」を開催、異性と上手にコミュニケーションをとる“コツ”を学びました。



女性向け講座の様子



講師の安東 徳子氏



男性向け講座の様子



学士会・学士会館共催

「親と子が共に参加する良縁講座」開催報告

[場 所]
学士会館

2016年8月28日(日) 14:00～17:00

結婚を希望するお子様と親御様が一緒に参加する新たな良縁講座を開催しました。

開催直後は、会場が緊張感に包まれていましたが、時間の経過とともに会話も弾み、最後のフリースタイルではお子様同士が談笑しながら連絡先を交換している姿を、お互いの親同士が少し離れた場所から見守っているといった温かな会となりました。



親子揃っての交流時間



学士会・北海道大学校友会エルム共催・北海道大学後援

「北海道講演会」開催報告

[場 所] 北海道大学学術交流会館

2016年10月1日(土) 長沼 昭夫氏 (株式会社きのとや 代表取締役会長)

「北海道から世界へ～スイツ王国の国際戦略」

3年目となる「北海道講演会」は、学士会・北海道大学校友会エルム共催、北海道大学・北海道新聞社・NHK札幌放送局後援で開催し、約80名の参加がありました。会社設立後の苦労話から今後の国際展開までの長沼氏の話に、興味深く聴き入っている参加者の姿が印象的でした。懇親会では、出身大学や年代の垣根を超えた交流を全員が楽しみました。

当日の様子(写真)は、本誌巻頭カラーページをご覧ください。



学士会主催 45歳以下限定企画

「若手工場夜景クルーズ」開催報告

[集合場所]
みなとみらいぶかり棧橋

2016年10月2日(日) 17:30～19:20

45歳以下の会員限定で、「若手工場夜景クルーズ」を開催しました。

見事な夕焼けを背にクルーザーは「みなとみらいぶかり棧橋」を出港し、横浜ベイブリッジや本牧埠頭のガントリークレーン、根岸の製油所プラントなどを約1時間半かけて巡りました。幻想的で煌びやかな工場夜景を見ながら、写真を撮ったり、交流を深めたり、終始楽しそうな参加者の姿が印象的でした。



借り切った
クルーザー(左)



幻想的な工場夜景



学士会創立 130 周年

学士会館 1 階に「学士会 130 年のあゆみ」を展示中です



学士会では、年表「学士会130年のあゆみ」を学士会創立130周年記念として作成し、学士会館1階「七大学展示コーナー」内学士会ブースにて展示しています。

1886（明治19）年に東京大学卒業生・教員等の有志により開かれた「加藤弘之先生謝恩会」から2016（平成28）年現在までの学士会130年の主な出来事を、当時の写真と共にご覧いただけます。

※学士会ブースは、会員作品が展示されている場合がございます。



学士会館主催 開館88周年記念 紅楼夢イベント

「中国料理とプレミアムビール～美と健康の宴～」

2016年8月24日（水）18：00～20：00

昨年開催した「第2回「飲と食とトーク」」でウイスキーとの絶妙なマッチングを披露した中国料理「紅楼夢」が、今回はビールとのマリアージュに挑みました。当日は、フカヒレの姿煮やオマール海老、牛テールを使った「紅楼夢」自慢の料理と、ビール会社4社のプレミアムビールを楽しみました。



学士会館主催 開館88周年記念イベント

「極める フランス料理・伝統のエスプリ」

2016年9月18日（日）18：00～20：00

学士会館では、昨年に引き続きフランス国家最優秀職人章（MOF）の称号を持つフランス人シェフのクリスチャン・テットドワ氏を招聘し、特別晩餐会を開催しました。

参加者は、テットドワ氏と学士会館が織りなす料理に舌鼓を打ちました。



テットドワ氏

2015年ノーベル物理学賞受賞者
梶田隆章会員（人物・左）





「カメラをもっと楽しもう！」

～スマホで気軽に写真教室～

9月24日(土)に、学生会女性会員限定でスマートフォンで撮る写真教室を開催しました。当日は、講師と一緒に学生会館界隈の観光をスポットを巡りながら、各自が撮りたいと思う“風景”や“建物”の撮り方を教わりました。

会館に戻ってきた後は、レストラン「Latin」で特製ランチをいただきながら、今度は料理写真のポイントとコツを学びました。



1

📷 JR 御茶ノ水駅
まずはスマホのレンズを磨きます

2



📷 神田明神
スマホの構え方を学びます



3

📷 湯島聖堂
スマホのカメラ機能を学びます



4



📷 ニコライ堂 (東京復活大聖堂教会)
撮影角度を学びます

5



📷 学生会館
レストラン「Latin」
料理写真のコツを学びます

Y. Hさん撮影



参加者、講師のきみえ先生が撮った写真をご紹介します！（順不同）

M. Kさん撮影



Y. Sさん撮影



Y. Hさん撮影



きみえ先生撮影



K. Nさん撮影



R. Kさん撮影



K. Kさん撮影



Y. Aさん撮影



“どこ”を、“なに”を、撮るのか？ 撮影者の個性がひかります。
ご参加いただいた皆様、どうもありがとうございました。



七大学書籍ランキング BEST 5

期間：2016年9月1日～2016年9月30日

北海道大学生協 書籍部 Clark

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 聖なる怠け者の冒険	森見登美彦	朝日新聞出版
	2 天下と天朝の中国史	檀上寛	岩波書店
	3 丸鬼周造全集（第三巻）人間と実存	天野貞祐、澤瀉久敬、佐藤明雄（編）	岩波書店
	4 言語起源論	ジャン＝ジャック・ルソー	岩波書店
	5 小説 君の名は。	新海誠	KADOKAWA
一般書	1 岩波講座 教育変革への展望 第4巻 学びの専門家としての教師	佐藤学ほか（編集）	岩波書店
	2 生物学の哲学入門	森元良太（著）、田中泉史（著）	勁草書房
	3 戦争まで	加藤陽子	朝日出版社
	4 【図解】大学4年間の経済学が10時間でざっと学べる	井堀利宏	KADOKAWA
	5 北海道史事典	北海道史研究協議会（編）	北海道出版企画センター

東北大学生協 書籍部 文系店

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 周	佐藤信弥	中央公論新社
	2 小説 君の名は。	新海誠	KADOKAWA
	3 中国の論理	岡本隆司	中央公論新社
	4 何者	朝井リョウ	新潮社
	5 天下と天朝の中国史	檀上寛	岩波書店
一般書	1 科研費申請書の赤ペン添削ハンドブック	児島将康	羊土社
	2 幽霊近世都市が生み出した化物	高岡弘幸	吉川弘文館
	3 サビエンス全史 上	ユヴァル・ノア・ハラリ	河出書房新社
	4 サビエンス全史 下	ユヴァル・ノア・ハラリ	河出書房新社
	5 学術書の編集者	橘宗吾	慶應義塾大学出版会

東京大学生協 本郷書籍部

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 それでも、日本人は「戦争」を選んだ	加藤陽子（日本近代史）	新潮社
	2 研究者としてうまくやっていくには	長谷川修司	講談社ブルーバックス
	3 小説 君の名は。	新海誠	KADOKAWA
	4 ビッグデータと人工知能	西垣通	中央公論新社
	5 聖なる怠け者の冒険	森見登美彦	朝日新聞出版
一般書	1 TOEIC® テスト公式問題集	Educational Testing Service	国際ビジネスコミュニケーション協会
	2 科研費申請書の赤ペン添削ハンドブック	児島将康	羊土社
	3 戦争まで	加藤陽子	朝日出版社
	4 会社四季報業界地図 2017年版	東洋経済新報社（編）、東経（編）	東洋経済新報社
	5 Python 機械学習プログラミング	セバスチャン・ラシュカ	インプレス

名古屋大学生協 書籍部 BOOKS フロンテ

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 小説 君の名は。	新海誠	KADOKAWA
	2 科学者と戦争	池内了	岩波書店
	3 君の名は。Another Side : Earthbound	加納新太	角川スニーカー文庫
	4 何者	朝井リョウ	新潮社
	5 夢の新エネルギー「人工光合成」とは何か	光化学協会 (編)	講談社ブルーバックス
一般書	1 TOEIC® テスト公式問題集	Educational Testing Service	国際ビジネスコミュニケーション協会
	2 新 TOEIC® TEST 出る単特急 金のフレーズ	TEX 加藤	朝日新聞出版
	3 科研費申請の赤ペン添削ハンドブック	児島将康	羊土社
	4 なぜあなたは論文が書けないのか?	佐藤雅昭	メディカルレビュー社
	5 科研費採択に向けた効果的なアプローチ	塩満典子 / 北川慶子	学文社

京都大学生協 BOOK センタールネ

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 聖なる怠け者の冒険	森見登美彦	朝日新聞出版
	2 小説 君の名は。	新海誠	KADOKAWA
	3 東大 VS 京大	橋本俊詔	祥伝社
	4 とっぴんばらりの風太郎 上	万城目学	文藝春秋
	5 村上海賊の娘 第三巻	和田竜	新潮社
一般書	1 TOEIC® テスト公式問題集	Educational Testing Service	国際ビジネスコミュニケーション協会
	2 科研費申請書の赤ペン添削ハンドブック	児島将康	羊土社
	3 科研費 採択される3要素	郡健二郎	医学書院
	4 改憲がもたらす戦争する国日本	自由法曹団・改憲阻止対策本部 (編著)	学習の友社
	5 ビッグデータと人工知能	西垣通	中央公論新社

大阪大学生協 書籍部 豊中店

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 イモータル	萩耿介	中央公論新社
	2 小説 君の名は。	新海誠	KADOKAWA
	3 これからの「正義」の話をしよう	マイケル・J. サンドル	早川書房
	4 何者	朝井リョウ	新潮社
	5 通貨の日本史	高木久史	中央公論新社
一般書	1 心はすべて数学である	津田一郎	文藝春秋
	2 日本語の謎を解く	橋本陽介	新潮社
	3 アメリカ大統領制の現在	待鳥聡史	NHK 出版
	4 伯爵夫人	蓮實重彦	新潮社
	5 丸山眞男の敗北	伊東祐史	講談社

九州大学生協 文系購買書店

	書名	著者名	出版社
文庫・新書	1 憲法という希望	木村草太	講談社
	2 ルポ 貧困女子	飯島裕子	岩波書店
	3 アメリカ政治の壁	渡辺将人	岩波書店
	4 来福の家	温又柔	白水社
	5 東大 VS 京大	橋本俊詔	祥伝社
一般書	1 TOEIC® テスト公式問題集	Educational Testing Service	国際ビジネスコミュニケーション協会
	2 事例から行政法を考える	北村和生、深澤龍一郎、飯島淳子、磯部哲	有斐閣
	3 小早川光郎先生古希記念 現代行政法の構造と展開	宇賀克也、交告尚史 (編)	有斐閣
	4 排除と差別の社会学 新版	好井裕明 (編)	有斐閣
	5 空き家対策の実務	北村喜宣、米山秀隆、岡田博史 (編)	有斐閣

認知症の発症メカニズムについてはかなり解明されてきたが、進行を止める治療薬はまだ開発されていない。しかし、「認知予備能」(脳に病変が生じても認知症を発症することなく持ちこたえることができる、個人個人に備わった脳の力)というものがあり、人は一生楽しく学び続けることによって認知予備能を大きく育てることができるとされている。四月に開催された夕食会で、柳澤先生はこのようなお話をされた。日本の65歳以上の人口は2025年には全人口の3割を超えると予測されている。ビジネスの世界では、今はニーズではなくウォンツ(やりたいこと)を創造することで革新的なビジネスが生まれている。自分がどうしても欲しいものがある、どうしても見たい世界がある、どうしても助けたい人がいる。このような内的な動機を、「面白い」から始めて65歳以上の生活を面白く乗り切ることができれば、同時に認知予備能も大きく育てることができそうである。(編集委員：佐藤千恵子)

西暦2000年のミレニアム騒動から早や16年も過ぎてしまった。月日の経つのが加速度的に速くなっている。吉田兼好以来、同じ嘆きを繰り返している。特に科学技術の進歩には驚嘆する。今一番の脅威と予測されている技術の一つはAI(人工知能)ではないだろうか。最近、東大医科学研究所で不治の病とされた重篤な白血病患者を、AIが膨大な文献から最適な治療法を提示し、快癒させ、退院させたらしい。少人数の医療チームでは網羅しきれない大量の文献データを精査し最適の治療方法を編み出した、AIの勝利である。

「2001年宇宙の旅」というSF映画は、HALというコンピュータが人間をコントロールしようとするという話だった。欧米にはコンピュータやロボット開発に常にそのような偏見と恐怖があるが、日本には鉄腕アトムに象徴されるよう先端技術に対する親近感と善玉通念がある。自動運転技術等、人類が経験しなかった夢の技術がさらに急速に開発されていくのだろうか。近未来には乗用車も空を飛んでいるのだろうか？(編集委員：田村恵美子)

先日、国立大学の情報処理センターの方々が集まる研究会に参加する機会を得られた。2日間で様々な発表や懇親会等で意見交換をさせていただき、非常に有意義だった。

特に、発表後の質疑応答は非常に熱の入ったもので、お互いのノウハウを共有する姿勢が素晴らしいと感じた。

その中で違和感があったのは、「お金が無い、けれど新しいことはやらなきゃ」という要求だけは非常に高く、その割にリスクを負う姿勢が全く無いという意見だった。

一般的にコストと機能は背反関係にあるし、新しい試みにはリスクがつきものなのだが、恐らく頭で分かっている、誰も出ない杭にはなりたくないのだろうと感じた。

豊洲に対する過度な要求水準など、日本全体がもっと見直していかなければ、これからの人口減社会に適応出来ないのではと危惧した初秋であった。(編集委員：吉積礼敏)

NU7 第8号

2016年 11月1日 発行

編集兼
発行人

大垣 眞一郎

発行元

一般社団法人学士会

〒101-8459 東京都千代田区神田錦町3-28

TEL：03-3292-5950

FAX：03-3292-2779

homepage：http://www.gakushikai.or.jp/

e-mail：koho@gakushikai.or.jp

印刷所

大日本法令印刷

会員通信

会員ギャラリー



「佃島」
水彩



「溪流」
油彩

(牧野尊敏 会員 北大・昭39)

学士会の活動・サービス一覧

七大学への支援・連携

- ・「全国七大学総合体育大会（七大戰）」への特別協賛（協賛金、優勝トロフィー）
- ・七大学との情報交換、メールマガジンの相互乗り入れ
- ・七大学との共催イベント ・ホームカミングデーへ参加 ・七大学支部連絡室の提供

七大学関連団体との連携

- ・七大学の同窓会との情報交換、メールマガジンの相互乗り入れ
- ・お互いの主催イベントへの相互協力
- ・七大学OB合同イベントへの協力（「七大学OB野球大会」への支援など）
- ・学生会館における全学同窓会会合の支援や、若手同窓団体講演会への共催や支援

会員活動に対する支援

- ・同好会活動への支援（撞球、囲碁、将棋、俳句、漢詩、短歌、落語）
- ・学生会館の会員倶楽部室（撞球、囲碁、将棋、会員会議室）の利用
- ・学生会館の談話室、読書室の利用（いずれも Wi-Fi 利用可）

会員向け活動・サービス

- ・『學士會会報』『NU7』『会員氏名録』の発行
- ・「夕食会」「午餐会」「若手交流会」「関西茶話会」「新春講演会」「地域講演会」などの講演会開催、「新年祝賀会」「クリスマス家族会」などのイベント開催
- ・メールマガジンの配信（登録者向けに毎月1日発行/読者プレゼントあり）
- ・学生会館専用サイト「交流サロン・謝恩の情」の利用（NU7+・同好会だよりの閲覧）
- ・鑑賞ツアー（観劇、コンサートなどの割引チケット提供およびプログラム提供などの特典）
- ・引越越しや葬祭時の割引特典（クロネコヤマト・アート引越センター/セレモア）
- ・スポーツクラブの割引利用（ルネサンス・ドゥミルネサンス）
- ・住宅に関する総合案内「住まいサポート」（パナホーム・住友林業）
- ・（終身会員のみ）夕食会・午餐会参加時のソフトドリンク1杯無料サービス
- ・事典・辞書のデータベース「ジャパンナレッジ」の割引利用
- ・東京国立近代美術館の割引利用
- ・「しがくのやど」（日本私立学校振興・共催事業団運営の会館・宿泊施設）の割引利用
- ・生涯メールアドレスの提供（希望者のみ）
- ・会員作品（書籍・絵画等）の展示（学生会館）

学生会館事業

- ・婚礼プラン利用の際、お祝い金（5万円）贈呈
- ・宿泊および集宴会を会員価格にて利用（終身会員は会員価格から10%割引）
- ・慶祝プラン（金の食器使用）利用の会員グループに食事券（5,000円）贈呈
- ・レストランでのランチ（平日13時以降来店に限る・セブンスハウス除く）・ディナー飲食料、同伴者を含め10名迄10%割引（終身会員本人は、ランチ全時間帯10%割引）※来店時に会員証を提示
- ・レストランの個室料無料 ※来店時に会員証を提示

幸せです。



学会館だから



絶品のフォアグラのポワレ



料理長自慢のフカヒレの姿煮



季節を感じる演出も魅力

レストラン ラタン

伝統のフランス料理を時に磨かれた空間で昭和初期の建築様式が色濃く残す店内。受け継がれてきたフランス料理をどうぞ。

◇月曜定休 ◇03-3292-0881

中国料理 紅樓夢

本格的な中国料理の真髄を味わう時間を異国情緒漂々空間で、華やかで多彩な本場中国料理をご堪能ください。

◇日曜定休 ◇03-3292-0880

旬菜寿司割烹 二色

目で楽しみ、季節を味わい、銘酒に酔う全国各地の旬の食材や吟味された銘酒を、磨き上げた繊細な味でお楽しみください。

◇日曜定休 ◇03-3292-3960

学会館レストランにおける学生会員特典が拡充されています。

【レストラン ラタン・中国料理 紅樓夢・旬菜寿司割烹 二色（セブンズハウスは除く）】
2016年9月1日（木）より、下記の割引特典が開始され、ご好評いただいています。
◎13時以降のランチタイムは、学生会員証を入店時にご提示いただくと10%割引となります。

※平日のみ・カード可・1グループあたり同伴者を含め10名まで。
※終身会員はランチ全時間帯10%割引です。

あなたの思い出の中に…
金のカトラリーセット

好評販売中

学会館が大切に守り、保有してきた金のカトラリーを、今回新たに学会館のロゴを刻印してお手元にお届けいたします。
◇88周年特別価格 88,000円（税込・送料無料）
◇公式ホームページオンラインショップよりご購入ください。
<http://gakushikaikan.co.jp/ec/>
◇お問合せ：03-3292-5936



学会の紹介

学会は、国立七大学（北大・東北大・東大・名大・京大・阪大・九大）の卒業生・学生・教員約5万人からなる総合同窓団体です。

学会の発端は、明治19（1886）年に開かれた東大初代総理・加藤弘之先生の謝恩会。今年、130周年を迎えた学会は現在、七大学特別協賛をはじめとした七大学への支援や、七大学同窓団体との連携、会員向けに様々なサービスを展開しています。



会員資格

七大学の卒業生（学士・修士・博士）

七大学の教職員（教授・准教授・助教など）

七大学の学生

※詳細は、学会公式サイト「情報公開」の定款をご覧ください。

※学生は、学生会員への登録になります。登録料は無料です。

会費

入会金なし、年会費 4,000 円

※学部卒業後2年間は3,000円（学会事業年度は4月1日～翌3月31日）。

※会費一括納入の終身会員制度もございます。お問い合わせください。

秋季ご卒業お祝いキャンペーン実施中！
今秋七大学卒業・修了の方をご紹介します。



主な会員サービス

最新情報をお届けする学会メールマガジンは、どなたでもご覧いただけます。公式サイトよりご登録ください。



『学会会報』の発行

明治20（1887）年より今まで続いている『学会会報』は、年6回奇数月に発行、ご指定の住所にお届けしています。

最新号・バックナンバーの目次を、公式サイトに掲載中です！



企業と連携したサービス

オペラや観劇などのチケット割引サービス「鑑賞ツアー」（オプション付き）や、スポーツクラブなどの割引サービス等を行っています。

「しがくやど」（宿泊・保養所）の割引利用や、インターネット辞書検索サイト「ジャパンレッジ」の割引利用も大人気です！



講演会やイベントの開催

「夕食会」「午餐会」「関西茶話会」「地域講演会」「若手交流会」「女性会」など地域・年齢を考慮した講演会・イベントを開催しています。

平成29年新春講演会講師は、113番新元素「ニホニウム」を発見した、森田浩介氏です。



平成29年新春講演会講師
森田 浩介氏



「学会館」の運営



集宴会や婚礼、宿泊には会員優待のある「学会館」（東京都千代田区）をご利用ください。

<学会会館レストランサービス拡充！>
会館レストラでのランチ（平日13時以降来店に限る・セブンスハウス除く）の飲食料も10%割引になりました。

入会をご希望の方は、学会公式サイトからお手続きください。

<http://www.gakushikai.or.jp/>

一般社団法人 学会



入会に関するお問い合わせは会員企画課まで /03-3292-5933（平日9時～17時）

